

# 福井県庁生活協同組合

## (1) 事業所の概要

- 所在地：福井市大手3丁目17番1号
- 創業：昭和33年11月
- 代表者職・氏名：代表理事・理事長 田邊 猛人
- 業種：職域の生活協同組合
- 従業員数：17人
- 事業内容：県職員の福利厚生事業（食堂、売店等の運営ほか）

## (2) 事業所で取り組んでいる健康づくり

### 【取組みの目標】

職員の健康づくりを応援し、一層の健康増進をめざす。

### 【取組みの内容】

- ・食生活の改善  
「ふくい100彩ごはん」の周知と推奨に加え、県庁食堂にて「ふくい勝ち飯」を販売し、バランス食事の推進を理事にも周知した。
- ・定期健康診断の推進  
職員全員が定期受けられるように、受診中の勤務をサポート
- ・感染症対策  
1日2回、消毒液による執務室内の清掃（消毒）をに加え、サーマルカメラを設置し体温測定を実施中。また、アルコール消毒液を設置や、福井県の感染対策行動指針を職員に配布し周知徹底を図っている。
- ・ノー残業、年次有給休暇取得の推進  
年末やお盆などの繁忙期を除き、出来る限りノー残業、有給休暇取得の推進を図るため、職員相互のサポートや休みやすい職場風土づくりを進めた。
- ・運動機会の増進に向けた取り組み  
健康づくりのため、自転車による通勤を推奨
- ・喫煙職員への禁煙勧誘

### 【取組みによる成果】

- ・職員の定期健康診断の受診率は100%
- ・ふくい勝ち飯の期間中完売（9/26～9/30）
- ・有給休暇取得率が増加
- ・自転車通勤者の増加
- ・実質喫煙者は1人のみとなった。

## (3) 今後の健康づくりの取組み

### 【今後の目指す姿】

健康づくりに取り組むことにより、職員が心身ともに健康で働くことができる職場環境づくりをめざす。

### 【重点的に取り組む内容】

- ・食生活の改善に向けて、周知活動を継続する。
- ・ノー残業、年次有給休暇取得の推進を強化する。